

私たちと地球は一体なのだ！

令和5年度 中央区に環境情報センター
環境講演会

2023年
11/26日
午後2時～3時30分



講演テーマ

私たちと地球は一体なのだ！
気候変動、脱炭素、都市の爆発、経済発展、私たちの暮らしとの関わり

- 日時** 11月26日(日)午後2時～3時30分(1.5時間)
(終了後15分の指導員付きSPHERE体験コーナーあり)
- 対象** 中学生以上の方
- 定員** 80人(申込多数の場合区民の方優先)
- 場所** 環境情報センター研修室 **費用** 無料
- 申込** 10月11日(水)から11月12日(日)までに電話または
環境情報センターホームページからお申込みください。

世界初のデジタル地球儀「触れる地球」の企画・開発者

講師 竹村 真一氏

京都芸術大学教授、Earth Literacy Program 代表
東京大学大学院文化人類学博士課程修了。
20代には世界約70カ国を踏破。地球時代の新たな
「人間学」を提起しつつ、世界初のデジタル地球儀
「触れる地球」の企画・開発など、ITを駆使した地球環境
問題への独自の取り組みを進める。



YouTube

YouTube:地球目線で考える「触れる地球」講座1:なぜ「触れる地球」を創ったのか?

世界初の
デジタル地球儀
SPHERE(スフィア)
の実演!!



令和5年度環境講演会の内容

地球の歴史を見ると、私たちの暮らしは地球と密接に関わっています。
本講演会で地球の環境と私たちの暮らしとのつながりについて深く学んでみませんか？

私たちが おいしいお米を 食べられるのは、 ヒマラヤ山脈の おかげ？！

東南アジア、中国南部、日本などの地域は、
多雨が特徴です。これは、遥か昔にヒマラヤ
山脈が形成されたことで、地球の大気の流れを
変え、「モンスーン」という季節風のシステムを
作り出したことが原因です。

屏風のようにそびえ立つヒマラヤ山脈にさえ
ぎられて、モンスーンは東南アジアや中国南部、
日本などに到達して多くの雨をもたらしました。

そのため、日本ではお米などの農産物が豊富
に収穫される環境が整ったのです。

講演会の様子をLIVE配信！！

たくさんの方にご覧いただけるよう、YouTubeでの
同時中継を行います。ぜひ、ご覧ください！



デジタル地球儀 SPHERE(スフィア)とは！？ What is SPHERE?

これまで国連防災会議(2015)や伊勢志摩G7サミット(2016)などで
展示されてきた「触れる地球」。魅力を紹介します。



もし、いま宇宙に
飛び出して地球を見たら？

「ひまわり」などの気象衛星が捉えた、現在の
地球の雲の様子が見られます。

科学的知見や統計に
基づくリアルなデータ



リアルタイムデータで、地球の「今」を見る



Play Movie ▶

ロンドンやニューヨークの様子は？場所を呼び
かけるだけで地球の「今」を見ることができます。

森林がCO₂を吸収する様子が見える！
Play Movie ▶



第一線の科学研究機関から提供されたデータを
重ね合わせることで、地球の体温と体調の変化が
ダイナミックかつリアルに映し出されます。

S・P・H・E・R・Eの6つのテーマに分かれて、
150以上の豊富なコンテンツが収録！！

S	SDGs	持続可能な開発目標
P	PRESENT	地球の現状と課題
H	PLANET of HOPE	希望のソリューション
E	EARTHPEDIA	地球百科
R	REAL TIME	リアルタイム
E	EXTRA	カスタマイズ・コンテンツ